

意外と身近！？

木材パルプ



輸入数量・金額税関別シェア第1位

木材パルプと聞いて何をイメージするでしょうか？

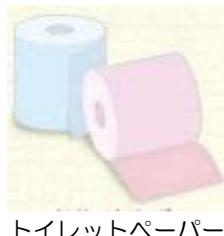
普段あまり聞きなれないかもしれません、木材パルプは紙などの原料になっており、実は私たちの生活にとって身近でかつ必要不可欠な存在となっています。

そんな木材パルプの名古屋管内における輸入動向についてトピックを交えながらご紹介します。

こんなところにも！？生活を支える木材パルプ



新聞紙



トイレットペーパー



電子機器の基盤



マスキングテープ



包装用紙、箱



紙おむつ



水引



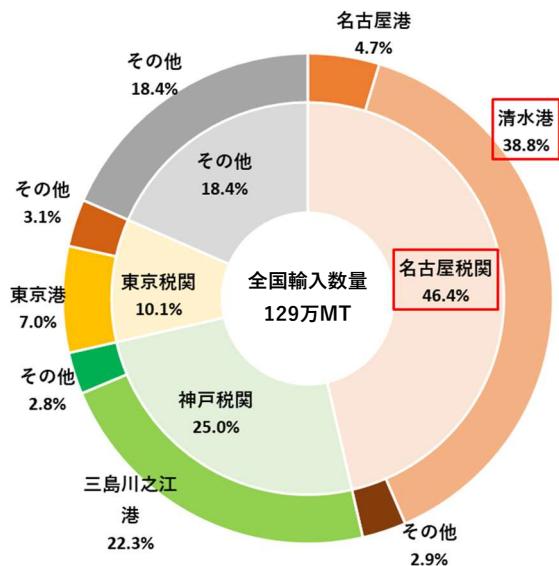
食器類

木材パルプは新聞紙や包装紙、紙おむつの原料となります。他にも電子機器の基盤やマスキングテープ、水引、最近ではストロー、食器類など様々な製品のもととなっており、私たちの生活に欠かせない存在となっています。

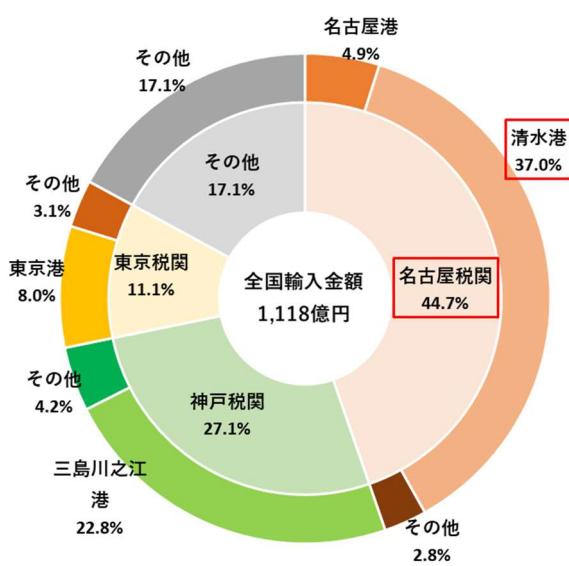
港・税関別輸入実績

～税関別シェアでトップを維持！！～

2021年 税關・港別輸入数量構成比



2021年 税關・港別輸入金額構成比



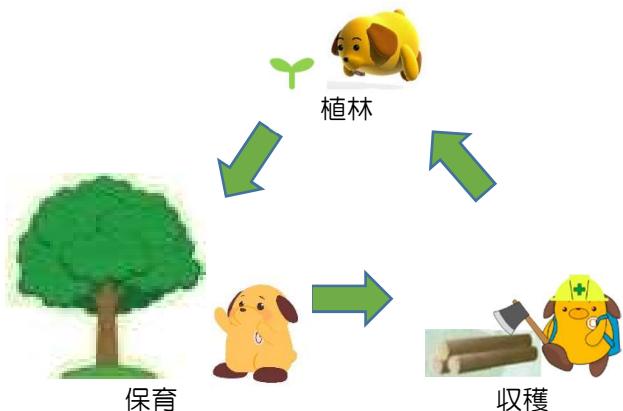
2021年の輸入実績を港・税關別でみると、数量・金額ともに名古屋税關が最も多く占めており、
1988年から33年連続して税關別シェア1位の座を保持しています。

特に清水港は全国の1/3強を占めており、輸入木材パルプの主要港となっています。

紙を作りすぎちゃうと森が減っちゃうんじや、、、

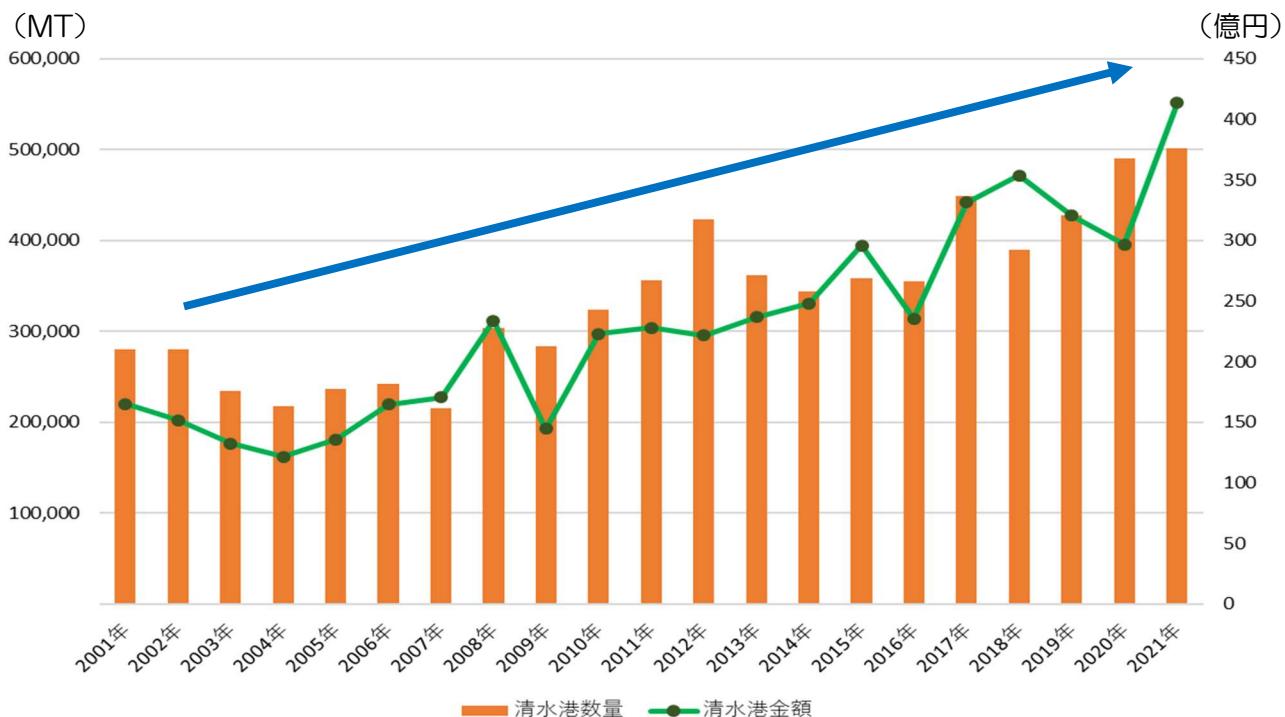


木材パルプの原料となる木材は、ほとんど人工林からによるもので、人工林は「植林→保育→収穫→再植林」という循環利用の生態系が確立されています。他にも製材後の残材や間伐材など木材パルプの原料以外に使い道がない木材を使用していることから、森林減少にほとんど影響がないとのことです。



(出典元：日本製紙連合会)

～清水港の輸入数量・金額上昇中！！～



清水港における木材パルプの輸入は上昇傾向にあります。業界によると、製紙会社や工場が静岡県内に数多く所在していることが要因のひとつと考えられているとのことです。また、清水港は木材パルプの輸入増加に対応するため、新興津地区の岸壁延長が計画されており、今後も清水港の輸入動向が注視されます。

紙のまち 富士市

豊富な水資源、原料である木材の供給地や製品の消費地への近接などを背景に全国有数の「紙のまち」として発展してきた静岡県富士市。古くから富士山南西麓から富士川上流にかけての地域で紙すきが行われ、江戸時代中頃には江戸に流通するようになり、しなやかな紙質で人気を博した「駿河半紙」がブランド化され隆盛しました。

明治に入ると、化学薬品を使用した紙の製造が始まり、今泉の湧水地帯（通称ガマ）を中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となりました。その後も、富士地区は生産用水と工場の動力源として豊富な水資源が注目され、多くの製紙会社が進出し、日本で初となる碎木パルプの生産が成功し安価で良質な更紙（ざらし）が造られました。

戦後においても、日本で初めて板紙生産に新聞古紙を利用する再生紙生産に取り組むなど、製紙産業的一大拠点となりました。

現代ではトイレットペーパーやティッシュなどの衛生用紙が国内屈指のシェアを誇っており、製紙関連産業は富士市の主要産業のひとつとなっています。

（富士市 HP から一部抜粋）

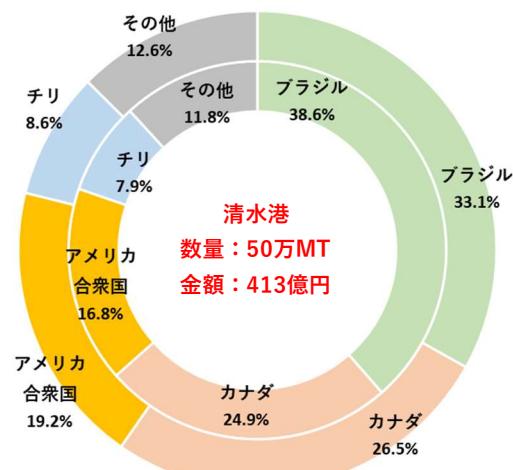
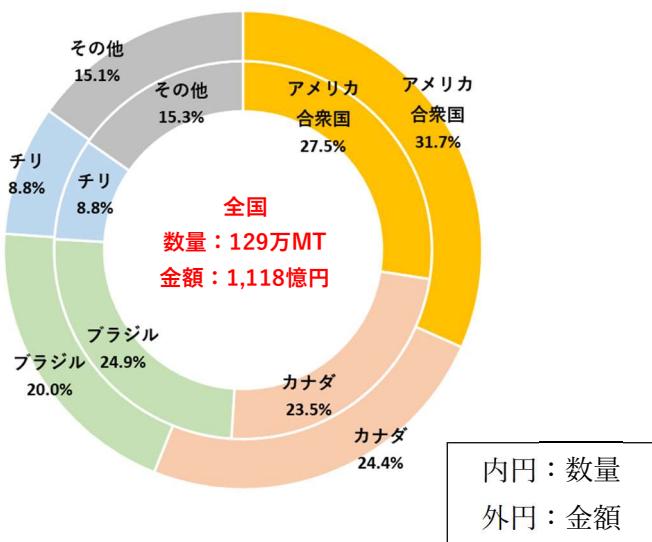


国別輸入実績

～南北アメリカ大陸は木材パルプの大生産地～

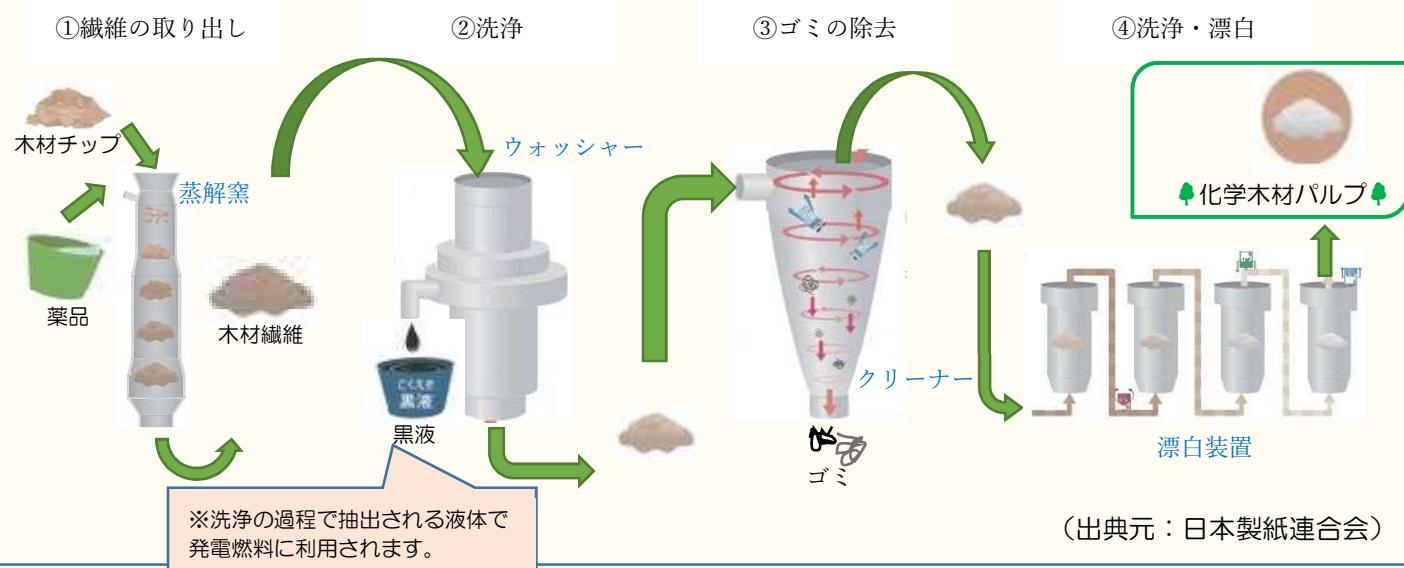
2021年 全国 国別構成比

2021年 清水港 国別構成



次に 2021 年の地域別構成比をみると、数量・金額ともに北米地域と中南米地域を原産とするものが多く占めています。業界によると、主に北米地域を原産とする木材パルプは針葉樹から、中南米地域を原産とする木材パルプは広葉樹から製造され、それぞれの地域で多く生育する樹木が原材料に使用されているとのことです。

化学木材パルプが出来るまで



時代の変化に対応



パンフレット

コピー用紙



デジタル化の促進！！

広告媒体のカタログやパンフレットのみならず、最近では会議資料や社内決裁手続き等も**デジタル化・ペーパーレス化**が進んでおり、その結果、コピー用紙等の使用量は減少傾向にあるとのことです。



買い物

衛生面



新型コロナウイルスの影響！！

コロナ禍での**衛生意識の高まり**を背景に紙タオルの需要が増加傾向にあり、また、**ネット通販の拡大**等により段ボール原紙や包装用紙等の増加が見込まれるとのことです。



プラスチック製品



環境問題への取組み！！

紙は**天然由来**であり、環境や生物に対し影響が少ないとことから、最近では**プラスチックの代替品**として紙製ストローやカップ、紙袋等が使われているとのことです。



夢の素材！？ その名はセルロースナノファイバー！



木材パルプが生み出すもう一つの素材、それがセルロースナノファイバー(CNF)です。CNFは木を構成する繊維をナノレベル（髪の毛の数万分の1！）までほぐして生まれる最先端のバイオマス素材です。CNFは「軽くて強い」「臭いを通しにくい」といった利点に加えて、紙の特性である「リサイクルが可能」「再生資源である木が原料」といった環境への優位性も持ち合わせおり、将来的には自動車や飛行機にも使用される可能性を秘めています。



木材パルプの荷役作業の様子
(業界からの提供)

【取材協力】

日本製紙連合会
富士市役所
王子キノクロス株式会社
王子グリーンリソース株式会社
他 (順不同)

- ①本資料の輸入数量及び金額の「木材パルプ」は、輸入統計品目番号「第47.03項（化学木材パルプ（ソーダパルプ及び硫酸塩パルプ（クラフトパルプ）に限るものとし、溶解用のものを除く。））」に分類されたものをまとめたものです。
- ②本資料は統計として比較可能な1988年以降のデータを基礎としています。
- ③本資料の輸入数量及び金額は2020年以前は確定値、2021年は確々報値となります。
- ④名古屋税関管内とは、名古屋税関が管轄する愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県をいいます。
- ⑤本資料の円グラフについて、四捨五入処理により総計が100%とならない場合があります。

資料編

全国・名古屋税関管内の輸入実績推移

年	全国				名古屋税関				単価 (円/MT)		
	数量 (MT)	前年比	金額 (千円)	前年比	数量 (MT)	前年比	全国比	金額 (千円)	前年比	全国比	
2001年	2,039,068	85.4%	120,782,347	73.8%	59,234	823,428	40.4%	48,533,886	74.1%	40.2%	58,941
2002年	1,915,159	93.9%	103,728,595	85.9%	54,162	807,401	42.2%	42,717,823	88.0%	41.2%	52,908
2003年	1,971,785	103.0%	108,550,654	104.6%	55,052	756,028	38.3%	41,201,403	96.5%	38.0%	54,497
2004年	2,021,383	102.5%	113,565,096	104.6%	56,182	799,863	39.6%	43,859,608	106.5%	38.6%	54,834
2005年	1,851,624	91.6%	106,718,396	94.0%	57,635	748,664	40.4%	42,344,563	96.5%	39.7%	56,560
2006年	1,875,173	101.3%	128,354,014	120.3%	68,449	747,561	39.9%	50,368,681	118.9%	39.2%	67,377
2007年	1,664,218	88.8%	133,807,057	104.2%	80,402	686,482	41.2%	54,017,653	107.2%	40.4%	78,688
2008年	1,586,267	95.3%	122,944,039	91.9%	77,505	639,244	40.3%	48,730,559	90.2%	39.6%	76,232
2009年	1,332,278	84.0%	70,293,507	57.2%	52,762	575,759	43.2%	29,152,148	59.8%	41.5%	50,633
2010年	1,436,622	107.8%	99,101,925	141.0%	68,983	652,014	45.4%	44,004,386	150.9%	44.4%	67,490
2011年	1,509,027	105.0%	97,869,542	98.8%	64,856	686,996	45.5%	42,974,120	97.7%	43.9%	62,554
2012年	1,491,617	98.8%	80,193,457	81.9%	53,763	697,700	46.8%	36,189,001	84.2%	45.1%	51,869
2013年	1,458,618	97.8%	98,015,872	122.2%	67,198	661,389	45.3%	43,212,791	119.4%	44.1%	65,336
2014年	1,486,446	101.9%	111,138,320	113.4%	74,768	662,541	44.6%	47,711,225	110.4%	42.9%	72,012
2015年	1,446,945	97.3%	122,842,270	110.5%	84,898	624,739	43.2%	50,929,276	106.7%	41.5%	81,521
2016年	1,407,152	97.2%	96,494,127	78.6%	68,574	586,062	41.6%	38,289,284	75.2%	39.7%	65,333
2017年	1,564,118	111.2%	118,159,247	122.5%	75,544	663,076	42.4%	48,501,621	126.7%	41.0%	73,146
2018年	1,453,936	93.0%	134,796,087	114.1%	92,711	626,292	43.1%	56,949,226	117.4%	42.2%	90,931
2019年	1,492,176	102.6%	117,251,134	87.0%	78,577	641,288	43.0%	48,685,371	85.5%	41.5%	75,918
2020年	1,359,927	91.1%	89,022,226	75.9%	65,461	608,251	44.7%	37,332,352	76.7%	41.9%	61,377
2021年	1,291,514	95.0%	111,783,878	125.6%	86,553	599,205	46.4%	49,967,971	133.8%	44.7%	83,390

清水港の輸入実績推移

年	清水港						単価 (円/MT)
	数量 (MT)	前年比	全国比	金額 (千円)	前年比	全国比	
2001年	279,740	79.7%	13.7%	16,503,624	69.5%	13.7%	58,996
2002年	279,640	100.0%	14.6%	15,164,259	91.9%	14.6%	54,228
2003年	234,795	84.0%	11.9%	13,219,298	87.2%	12.2%	56,301
2004年	217,472	92.6%	10.8%	12,165,469	92.0%	10.7%	55,940
2005年	236,061	108.5%	12.7%	13,584,918	111.7%	12.7%	57,548
2006年	242,035	102.5%	12.9%	16,450,634	121.1%	12.8%	67,968
2007年	215,138	88.9%	12.9%	17,047,614	103.6%	12.7%	79,240
2008年	303,936	141.3%	19.2%	23,370,049	137.1%	19.0%	76,891
2009年	283,969	93.4%	21.3%	14,444,924	61.8%	20.5%	50,868
2010年	323,942	114.1%	22.5%	22,305,160	154.4%	22.5%	68,855
2011年	355,584	109.8%	23.6%	22,797,614	102.2%	23.3%	64,113
2012年	422,815	118.9%	28.3%	22,179,446	97.3%	27.7%	52,457
2013年	361,329	85.5%	24.8%	23,676,746	106.8%	24.2%	65,527
2014年	343,873	95.2%	23.1%	24,794,030	104.7%	22.3%	72,102
2015年	358,562	104.3%	24.8%	29,582,558	119.3%	24.1%	82,503
2016年	355,164	99.1%	25.2%	23,557,972	79.6%	24.4%	66,330
2017年	448,841	126.4%	28.7%	33,156,539	140.7%	28.1%	73,871
2018年	389,966	86.9%	26.8%	35,344,249	106.6%	26.2%	90,634
2019年	427,116	109.5%	28.6%	32,046,066	90.7%	27.3%	75,029
2020年	489,971	114.7%	36.0%	29,658,149	92.5%	33.3%	60,530
2021年	500,880	102.2%	38.8%	41,344,789	139.4%	37.0%	82,544

2021年 国・地域別実績

国・地域名	全国								清水港							
	数量(MT)							単価 (円/MT)	数量(MT)					単価 (円/MT)		
		前年比	構成比	金額(千円)	前年比	構成比	前年比			前年比	構成比	金額(千円)	前年比	構成比		
北米	658,500	87.0%	51.0%	62,668,286	113.8%	56.1%	95,168	208,924	87.6%	41.7%	18,906,883	119.1%	45.7%	90,496		
カナダ	303,883	89.0%	23.5%	27,284,533	126.3%	24.4%	89,786	124,707	82.4%	24.9%	10,968,847	117.7%	26.5%	87,957		
アメリカ合衆国	354,617	85.4%	27.5%	35,383,753	105.8%	31.7%	99,780	84,217	96.6%	16.8%	7,938,036	121.2%	19.2%	94,257		
中南米	436,387	103.3%	33.8%	32,312,867	143.2%	28.9%	74,046	233,753	111.4%	46.7%	17,316,896	154.8%	41.9%	74,082		
チリ	113,267	112.6%	8.8%	9,854,018	159.3%	8.8%	86,998	39,708	121.5%	7.9%	3,549,913	175.4%	8.6%	89,400		
ブラジル	322,216	100.5%	24.9%	22,389,503	137.3%	20.0%	69,486	193,141	109.7%	38.6%	13,697,637	150.6%	33.1%	70,920		
ウルグアイ	904	67.3%	0.1%	69,346	94.2%	0.1%	76,710	904	79.8%	0.2%	69,346	108.8%	0.2%	76,710		
その他	196,627	-	15.2%	16,802,725	-	15.0%	85,455	58,203	-	11.6%	5,121,010	-	12.4%	87,985		
合計	1,291,514	95.0%	100.0%	111,783,878	125.6%	100.0%	86,553	500,880	102.2%	100.0%	41,344,789	139.4%	100.0%	82,544		

2021年 税関別輸入実績

税関	数量 (MT)			金額 (千円)			単価 (円/MT)
		前年比	構成比		前年比	構成比	
名古屋税関	599,205	98.5%	46.4%	49,967,971	133.8%	44.7%	83,390
神戸税関	323,427	94.1%	25.0%	30,267,420	121.4%	27.1%	93,583
東京税関	130,857	91.9%	10.1%	12,449,193	114.1%	11.1%	95,136
その他	238,025	-	18.4%	19,099,294	-	17.1%	80,241
合計	1,291,514	95.0%	100.0%	111,783,878	125.6%	100.0%	86,553

2021年 港別輸入実績

港	数量 (MT)			金額 (千円)			単価 (円/MT)
		前年比	構成比		前年比	構成比	
清水港	500,880	102.2%	38.8%	41,344,789	139.4%	37.0%	82,544
三島川之江港	287,785	94.7%	22.3%	25,518,375	126.2%	22.8%	88,672
東京港	90,516	82.6%	7.0%	8,943,094	101.8%	8.0%	98,801
名古屋港	60,959	94.4%	4.7%	5,475,929	129.1%	4.9%	89,830
新潟港	40,318	165.4%	3.1%	3,495,069	239.0%	3.1%	86,688
その他	311,056	-	24.1%	27,006,622	-	24.2%	86,822
合計	1,291,514	95.0%	100.0%	111,783,878	125.6%	100.0%	86,553

※本資料を引用する場合は、名古屋税関の資料による旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課 (TEL052-654-4176) までお願いします。

また、貿易統計は名古屋税関 HP でもご覧いただけます。《 <https://www.customs.go.jp/nagoya/> 》

